

# 平成19年3月期会社説明資料

平成19年3月  
アルゼ株式会社(JQ:6425)

# 【Contents】

【I】 平成19年3月期第3四半期決算概要

【II】 平成19年3月期業績見通し

【 】 今後の施策

国内パチスロ・パチンコ事業

海外カジノ向けゲーミング機器事業

カジノホテル運営事業

【 】 事業再編

【 】 ゴールドマン・サックスによる当社への  
資本参加について

# 【 】 平成19年3月期第3四半期決算概要

# 1)平成19年3月期第3四半期 要約連結損益計算書

単位:百万円、%

	H18.3期	H19.3期 第3四半期	H18.3期 第3四半期	対前年比	
				金額	増減率
売上高	48,506	30,648	37,221	6,572	17.7
売上原価	31,099	13,923	25,132	11,208	44.6
売上総利益	17,406	16,724	12,088	4,636	38.4
販売費及び一般管理費	22,717	15,515	16,511	995	6.0
営業利益又は営業損失( )	5,310	1,209	4,422	5,632	-
営業外収益	720	175	720	544	75.6
営業外費用	3,989	4,902	3,410	1,491	43.7
経常損失( )	8,578	3,516	7,112	3,595	50.6
特別利益	2,921	19,547	91	19,456	-
特別損失	5,779	1,743	3,698	1,954	52.8
四半期(当期)純利益又は 純損失( )	12,713	13,408	8,855	22,264	-
売上高経常利益率 [%]	17.7	-	-	-	-
EPS [円]	159.11	167.81	110.83	-	-

## 2)平成19年3月期第3四半期 要約連結貸借対照表

## 資産

単位:百万円、%

科目	H18.3期	H19.3期 第3四半期	H18.3期 第3四半期	対前年比	
				金額	増減率
流動資産	83,230	77,000	87,412	10,411	11.9
固定資産	84,658	103,065	91,717	11,347	12.4
有形固定資産	29,826	29,579	34,561	4,982	14.4
無形固定資産	1,558	1,114	2,064	950	46.0
投資その他の資産	53,273	72,371	55,091	17,280	31.4
資産合計	167,990	180,110	179,259	851	0.5

## 負債・資本・純資産

単位:百万円、%

科目	H18.3期	H19.3期 第3四半期	H18.3期 第3四半期	対前年比	
				金額	増減率
流動負債	37,586	36,659	35,688	970	2.7
固定負債	22,077	22,924	29,110	6,186	21.3
少数株主持分	306	-	4,607	-	-
資本	108,020	-	109,853	-	-
負債、少数株主持分及び資本合計	167,990	-	179,259	-	-
純資産	-	120,527	-	-	-
負債純資産合計	-	180,110	-	-	-

# 【 】 平成19年3月期業績見通し

平成19年3月期 通期業績予想(単体・連結) (平成19年3月26日現在)

[単位:百万円]

	H18.3通期(実績)		H19.3上期(実績)		H19.3通期(予想)	
	単体	連結	単体	連結	単体	連結
売上高	29,165	48,506	15,340	17,390	31,500	35,400
売上総利益	13,643	17,406	7,181	8,524	-	-
営業利益	5,613	5,310	1,450	1,487	-	-
経常利益	5,805	8,578	1,590	2,731	3,500	6,300
当期純利益	13,891	12,713	3,000	4,736	5,700	10,100

(H19.3上期)

- ・パチスロ新規レンタル設置が計画の30%、ソフト交換が計画の43%となり、計画を大幅に下回る。
- ・中間期終了時点でのレンタル設置台数約5万台。

(H19.3下期)

- ・平成19年3月26日現在で第4四半期の販売台数は7,300台を見込む。

単体当期純利益の予想数値については、特別損益について精査を行っているため、実績は大きく異なる可能性があります。

# 【 】 今後の施策



# 国内パチスロ・パチンコ事業

## 平成19年3月期実績

- ▶平成18年4月より1年間でパチスロ5号機11タイトルを発売

## 平成20年3月期に向けての施策

- ▶4号機から5号機への入れ替えピークの5月～6月に向けパチスロ強力タイトルを投入予定

# 平成19年3月期 パチスロ5号機発売タイトル一覧

	タイトル名	発売月
1	ロックユークイーン	平成18年4月
2	ちゅら姫SUN	平成18年6月
3	電撃フランケン	平成18年7月
4	クランキーコンドルX	平成18年8月
5	らくちん沖姫	平成18年9月
6	格闘激戦区	平成18年10月
7	バーグラー	平成18年10月
8	サンダーVスペシャル	平成18年11月
9	モエるまりんバト (ゲームパチスロ第1弾)	平成18年12月
10	バトルシーザーXXX (X筐体RPGパチスロ第1弾)	平成19年3月
11	やっぱりいいネ!	平成19年3月

平成18年4月以降、ほぼ1ヶ月に1タイトルのペースで5号機を発売。従来機比で10倍以上の映像処理能力を搭載した新筐体「X（エックス）」も市場に投入開始。更なる販売拡大を目指す。



# 海外カジノ向けゲーミング機器事業

## 平成19年3月期実績

- 平成18年7月 米国ネバダ州での永久更新可能な製造ライセンス取得

## 平成20年3月期に向けての施策

- 平成19年4月1日 当社100%米国子会社のアルゼ・ゲーミング・アメリカ・インクへ、海外カジノ向けゲーミング機器事業を事業譲渡。米国市場の拡大(特に、インディアンカジノ市場への新規参入)に対応できる開発、販売体制の構築

インディアンカジノ・・・米国先住民部族が経営するカジノ。近年急速に拡大しております。

# カジノホテル運営事業

## 1) ウィン・リゾーツ オープン実績及び計画

平成17年4月	ウィン・ラスベガス オープン (客室数: 2,716室)
平成18年5月	“アンコール”ウィン・ラスベガス 着工
平成18年9月	ウィン・マカオ(第一次) オープン (客室数: 約600室)
平成19年7月	ウィン・マカオ(第二次) オープン(カジノスペース追加)
平成21年初め	“アンコール”ウィン・ラスベガス オープン (客室数: 約2,050室)
平成21年以降	マカオ・コタイ地区にカジノリゾートホテル建設予定 (現在約21万平方メートルの土地取得申請中)

(出典: 当社及びウィン・リゾーツ社HP)

## 2) ウィン・リゾーツ社の営業権サブライセンス売却について

平成18年3月5日 ウィン・リゾーツ社は、パブリッシング・アンド・ブロードキャスティング社(以下「PBL社」という)へマカオ特別行政区における営業権サブライセンス( )を、9億米ドル(当時、約1,000億円)にて売却する合意書にサインしたことを発表

9月11日 ウィン・リゾーツ社は、PBL社の関連会社への営業権サブライセンス売却を9億米ドル(約1,000億円)で完了したことを発表

11月7日 ウィン・リゾーツ社が第3四半期決算報告で、営業権サブライセンス売却を営業外収益として計上、税引後利益が約6億8千万米ドル。当社は連結上、第3四半期でこの持分割合相当額を約190億円の持分法投資利益として特別利益に計上

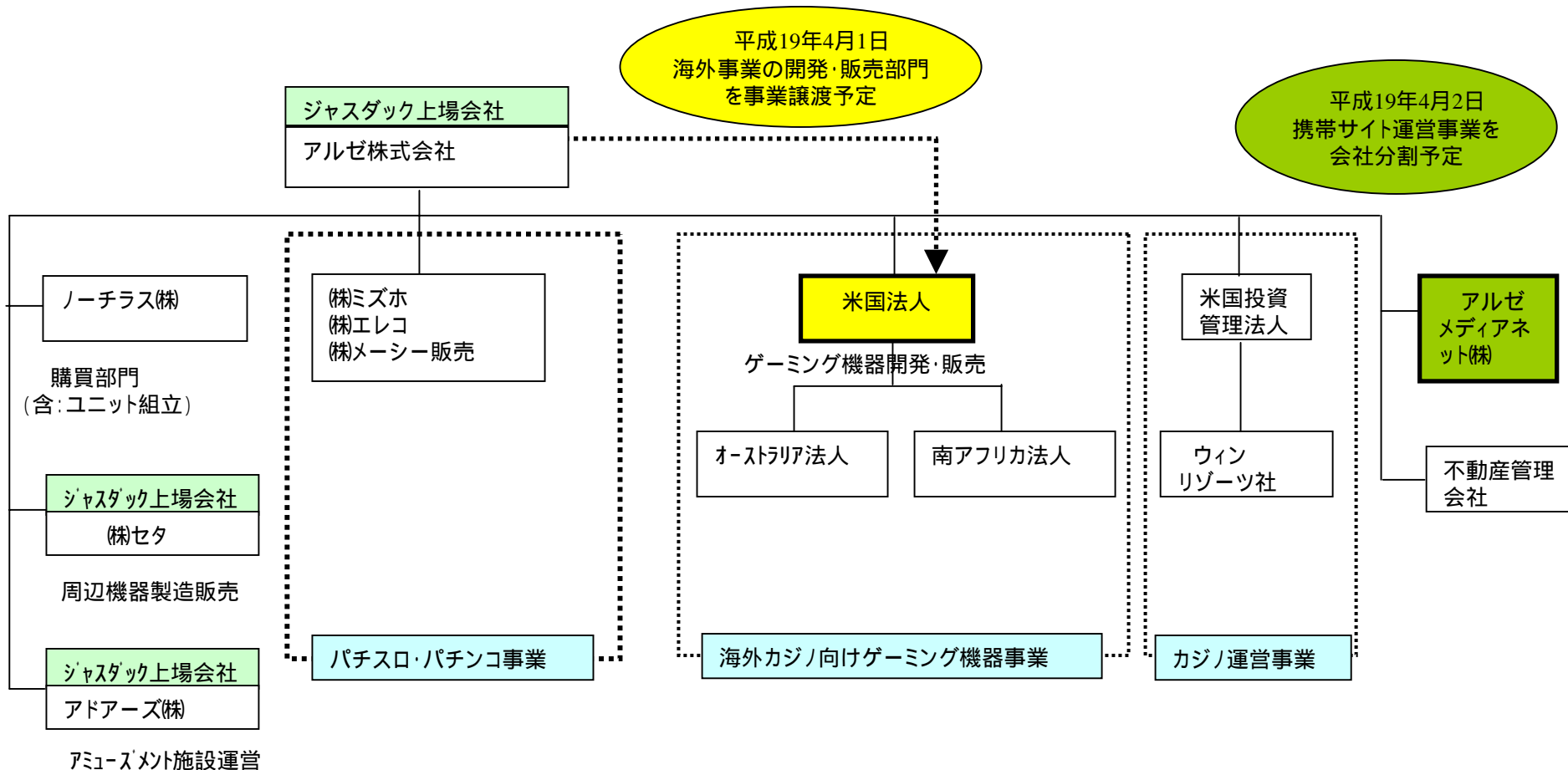
11月13日 ウィン・リゾーツ社による取締役会を開催し、1株あたり6米ドルの特別配当を11月23日現在の株主に対して12月4日より支払うことを決議

12月4日 ウィン・リゾーツ社による特別配当が当社100%子会社であるAruze USA, Inc.に対して実行され、当社グループは約170億円の現金収入となった

ウィン・リゾーツ(マカオ)は、自身はライセンスを保有したまま、マカオ政府の承認を受けた上で、他のゲーミング運営会社に営業権のサブライセンスを行うことが認められています。今回の営業権サブライセンス売却後も、ウィン・リゾーツ(マカオ)は、平成18年9月にオープンしたカジノリゾート「ウィン・マカオ」を継続して運営しております。

# 【 】事業再編

# 第1段階(～平成19年4月2日) 海外事業移管 / 携帯サイト運営事業独立化



## 第2段階(～平成19年10月1日) 国内事業移管

平成19年10月1日事業持  
株会社移行予定

アルゼホールディングス

平成19年4月1日海外事  
業の開発・販売部門  
を事業譲渡予定

国内事業  
会社群

海外事業  
会社群

- 当社の事業持株会社体制移行
- 国内パチスロ・パチンコ事業の開発部門と販売部門を、それぞれ開発会社と販売会社へ分離・独立



【 】 ゴールドマン・サックスによる当社への  
資本参加について

- ▶当社とゴールドマン・サックス（本社：ニューヨーク、米国）は、平成19年3月29日付で、ゴールドマン・サックスが当社普通株式の9%を取得することで合意いたしました。具体的には、必要な手続き、承認等を経た上で、ゴールドマン・サックスが当社取締役会長である岡田和生の保有する当社普通株式のうちの7,217,600株（発行済株式の9.00%）を譲り受ける予定です。なお、岡田和生は引き続き当社の筆頭株主であり、今後も取締役会長として当社の経営に携わってまいります。
- ▶当社はグローバル総合エンターテインメント企業として「楽しさ」を創造し、「夢のある社会」創りに貢献することを経営の基本方針としており、国内パチスロ・パチンコ事業に加え、海外カジノ向けゲーミング機器事業の拡大、ウィン・リゾーツ社を通じたカジノホテル運営への参画といった海外事業を積極的に展開するべく経営改革を行っております。
- ▶このような折、世界屈指の投資銀行であり、日本の市場においても投資と事業変革に関する多くの経験を有しているゴールドマン・サックスから資本参加を受け、当社が今後さらにグローバルに成長していくための財務及び事業戦略に関してサポートを受けてまいります。
- ▶当社は、ゴールドマン・サックスの資本参加及び協力を得てより一層の企業価値の向上を目指していこうと考えております。